2020年8月7日

川崎医療福祉学会

会員各位

川崎医療福祉学会誌編集委員会

委 員 長　福岡 欣治

副委員長　石田 弘

執筆規程における引用文献表記の一部修正について

平素より、川崎医療福祉学会誌（和文誌、英文誌）へのご投稿、誠にありがとうございます。

このたび、執筆規程における引用文献の表記方法に関して、ルールの明確化（明示）と簡素化を意図し、以下の事項につき修正をおこなうことといたしました（2020年度第2回委員会にて決定）。微調整の範囲内と考え、勝手ながら次号（和文誌30巻2号、英文誌26巻2号）より適用とさせていただきます。

なお、執筆規程の本文については、近日中に修正したものを提示いたします。また、すでに次号への原稿をご提出（締切9月11日）済みの方におかれましては、現時点での修正の必要はございません。査読後、必要に応じてご修正ください。何とぞご了解のほど、お願い申し上げます。

記

# **1．ルールの明確化（明示）**

## **1-1．印刷中の文献**

末尾に“印刷中”（外国語文献（英文誌含む）の場合は“in press”）と記す。なお、公開年、巻など確定している事項があれば記載する。なお、論文掲載までに刊行された場合、刊行後の情報に差し替える。

## **1-2．早期公開の文献**

　刊行が確定しており、刊行までの期間にオンラインで公開されている文献については、末尾に“早期公開”（外国語文献（英文誌含む）の場合は“Advance online publication”）と記す。なお、論文掲載までに刊行された場合、刊行後の情報に差し替える。

## **1-3．オンラインのみで公開されている文献**

　DOIが付与されている場合は、末尾に付記する。

# **2．ルールの簡素化**

## **2-1．著者が多数の場合**

　著者が10名を超える（＝11名以上の）場合、9名まで列記した後、コンマに続けて“…”（外国語文献の場合は“…”）で省略し、最後の著者を記載する。つまり、記載される著者は最大10名とする。

## **2-2．雑誌論文における号数の表記**

　1つの巻の中で複数の号が刊行されている場合、各号独立のページ付である（＝各号がp.1から始まる）場合を除き、号の表記を省略し巻のみでよいこととする（※図書の「初版」と同じく、記載されていても可）。

## **2-3．「号のみ」の雑誌における号数表記**

表記が「号のみ」の場合、「巻のみ」の場合と同様、括弧書きにしない（巻のみでも号のみでも、表記上の区別をおこなわない）。

## **2-4．巻の表記**

従来ボールド体表記としていたが、これを止め、通常のフォントとする。

以上